

令和4年度 保育所自己評価

園名 吹田市立千里山保育園

保育所保育指針では、「保育所は、保育の質の向上を図るため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当該保育所の保育の内容等について自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない」ことが明記されています。このことに基づき、公立保育園では毎年自己評価を実施しております。評価の結果を踏まえ、よりよい教育・保育に向けた、改善や充実に取り組んでまいります。

園目標

げんきなこども
ともだちがだいすきなこども

評価結果の表示方法

A・・・十分達成されている。 B・・・達成されている。 C・・・取り組まれているが、成果が十分でない
D・・・取り組みが不十分である。

自己評価項目	ABCD 評価	評価内容
保育理念	A	子供の人権を尊重し、一人ひとりを大切に保育を行った。
こどもの発達援助	A	テーマに沿った学習実践を積み重ね、子供の姿や課題を話し合い取り組んだ。
保護者との連携	A	計画的に懇談会や参観を行い、行事等で保護者の思いに寄り添った。
地域との連携	A	対面とともにICTを活用して、悩みを聞いたり遊びを提供する等工夫して子育て支援を行った。
運営・管理、社会的責任	A	会議等で情報交換、課題検討を行い、保育活動・園運営に活かした。
職員の資質向上	A	園内研修を行い、実践を積み上げた。
安心・安全	A	感染症対策を行い、安心安全に過ごす環境を整えた。

今年度の評価

安心・安全な保育

コロナ禍の中、感染症対策を行い、子供たちが安心安全に過ごす環境を整えた。園のハザードマップを活用し、会議でヒヤリハット事案を出し、事故や怪我の再発防止に取り組んだ。職員間で共有しながら相互の連携を密にとった。

来年度の目標

安心安全な保育
保育の質の向上